

令和6年度

# 学生によるオレンジリボン運動

## 星槎道都大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学部 1・2 年生と北広島市（福祉総合相談室）、児童養護施設天使の園  
実施内容 児童虐待などの学びとオリジナルオレンジリボン作成・講演会・パネル展

### ①事前に取り組んだ内容

1 年生は必修科目『ソーシャルワーク演習』、2 年生は選択科目『地域共生プログラム』で、児童虐待の現状、オレンジリボン運動の起源・趣旨、憲章、オレンジリボンマーク、児童虐待防止法などについて学び、理解を深めた。

### ②実施期間に取り組んだ具体的内容

- ・大学がある北広島市役所保健福祉部福祉総合相談室とコラボし、学生と市役所職員がマスクottをつけたオレンジリボンを作成した。
- ・JR 北広島駅で市長、市職員、学長、教員、学生が、駅の利用者にオレンジリボンや講演会やこども家庭庁のチラシの配布を行った。
- ・11 月には市主催の児童虐待防止講演会で本学教員、児童養護施設天使の園職員が登壇。学生もボランティアで参加し、事前準備や受付などの業務を担った。また学生などが作成したリボンにメッセージを記載できるようにして、参加者に配布、メッセージを記載し、模造紙に貼ってもらった。
- ・その後、上記掲示物は、市役所や北広島駅に掲示をして、ソーシャルアクションを行った。

### ③オレンジリボン運動を終えて・・・

- ・社会福祉士・精神保健福祉士、保育士、教員（特別支援）を目指す学生たち、そして将来親になり、子育てをする可能性もある。  
オレンジリボン運動を行うことは、専門職として、親になるものとして大きな学びになるはずである。
- ・この度は活動を行うことで、学生・教員のみでの活動ではなく、市役所や児童養護施設職員とも関わることができ、活動の規模も大きくなった。学生にとっては、専門職などになる意欲喚起にもつながった。
- ・「みんなで取り組む」という活動は、学生の凝集性を高めることになり、社会への働きかけの重要性なども学ぶ機会にもなった。



北広島駅で市長、市職員・学長、教員・学生もオレンジリボンなどを配布



北広島駅で配布作業を終了させ、全員で記念撮影



児童虐待防止講演会で記念撮影



北広島市役所でパネル展